

お申し込み方法、その他

- 以下の「参加申し込みフォーム」に必要事項をご記入いただき送信して頂くか、QRコードよりお申し込みください。
*ご希望のプログラムに添えない場合は連絡させていただきます。
- 申込後、参加費(交流会費・ランチ代含む)をお近くの金融機関からお振込ください(金額はすべて税込です)。
*振込手数料はご負担願います。
*申込者様のお名前でお振込ください。法人名や他のお名前ですとお振込が確認できない場合がございます。

申し込み期限:2024年1月19日(金)
振り込み期限:2024年1月24日(水)

銀行振込み

南都銀行 西ノ京支店(普通)2078235
ゆうちょ銀行 一〇九(イチゼロキュウ)店(当座)0007812
名義:一般財団法人たんぼの家

郵便払込み

01080-6-7812 加入者名:一般財団法人たんぼの家
*通信欄に「セミナー参加費」とお書き添えください。

おことわり

キャンセルには下記の通りキャンセル料を申し受けますのでご注意ください。

- ◎1月20日[土]~26日[金]…参加費の50%
- ◎1月27日[土]・28日[日]…参加費の100%

*お預かりした個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ使用させていただきます。

お問い合わせ・お申し込み先

 〒630-8044 奈良市六条西3-25-4
一般財団法人たんぼの家
Tel.0742-43-7055 Fax.0742-49-5501
E-mail.ableart@popo.or.jp http://tanpoponoye.org/

福祉をかえる「アート化」セミナー 2024 参加申し込みフォーム

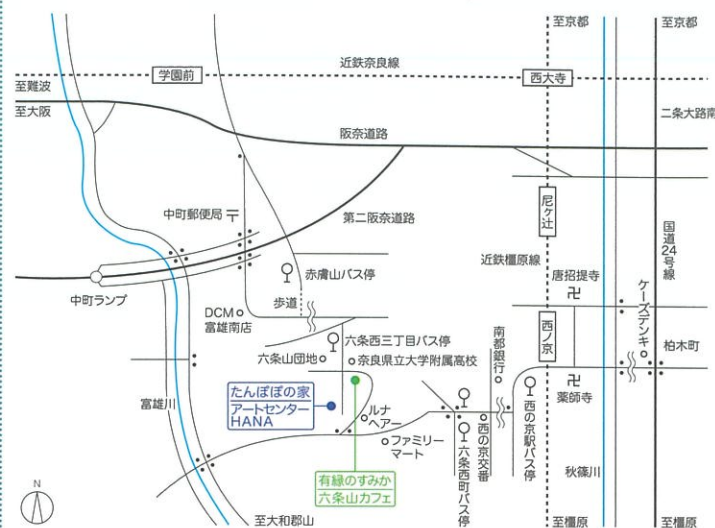
ウェブサイト: <http://tanpoponoye.org/> の申し込みフォームからも申し込みいただけます。

E-mail: ableart@popo.or.jp Fax.0742-49-5501

お名前[ふりがな]	所属先・活動内容等	
ご住所[ご自宅以外の場合は、団体名までお書きください]		
〒 -		
Tel.	Fax.	E-mail
このセミナーをお知りになったきっかけ、場所		
参加希望日程・オプションプログラムについて、該当する□に✓印を付けてください		
両日参加 (1月27日[土]・28日[日])	<input type="checkbox"/> 一般 16,500円 <input type="checkbox"/> 学生 5,500円	
1日参加 <input type="checkbox"/> 27日[土] <input type="checkbox"/> 28日[日]	<input type="checkbox"/> 一般 8,800円 <input type="checkbox"/> 学生 3,300円	
1月26日[金] エクスカーション <input type="checkbox"/> Good Job! センター香芝 見学会	<input type="checkbox"/> 一般 1,000円 <input type="checkbox"/> 学生 1,000円	
1月27日[土] オプション <input type="checkbox"/> アートセンター HANA ツアー(無料)		
1月28日[日] 選択プログラム ※それぞれ参加希望プログラムに○をつけてください。		
午前(いずれか1つに○) 1-A 1-B 1-C	午後(いずれか1つに○) 2-A 2-B 2-C	
1月27日[土] 交流会 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 4,000円 <input type="checkbox"/> 4,000円	
1月28日[日] HANA ランチ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 800円 <input type="checkbox"/> 800円	
振込合計金額	円	

※振込手数料はご負担願います。*申込者様のお名前でお振込みください。法人名や他のお名前ですとお振込みが確認できない場合がございます。

会場のご案内(1月27日、1月28日)*



たんぼの家アートセンター HANA 〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 Tel.0742-43-7055

- 近鉄奈良線「学園前」駅南口より**
- 「六条西三丁目」行きのバスに乗り、終点「六条西三丁目」で下車、徒歩3分。バスと徒歩で約20分。
 - 「赤膚山」行きのバスに乗り、終点「赤膚山」で下車、徒歩15分。バスと徒歩で約30分。
- 近鉄橿原線「西ノ京」駅より**
- 「奈良県総合医療センター」行きのバスに乗り「六条西町」で下車、徒歩10分。バスと徒歩で約20分。

無料送迎バスのご案内

近鉄奈良線「学園前」駅南口から、セミナー会場「たんぼの家アートセンター HANA」まで、ピストンによる送迎を予定しております。2日間とも、セミナー開催時/終了時にあわせた運行になります。詳細は、たんぼの家のウェブサイトでご案内させていただきます。ご不明な点は、事務局にお問い合わせください。

※1月26日(金)のエクスカーションは香芝市の Good Job! センター香芝となります。



写真:オーディオゲームセンター ワークショップ「AUDIO AR GAME MAKER」オーディオゲームをつくって遊ぼう!記録写真
Photo: Natsumi Kinugasa, Commissioned by the Nippon Foundation DIVERSITY IN THE ARTS

**福祉をかえる「アート化」セミナー 2024
アートはもうひとつの橋**

2024年 1月27日[土] → 28日[日]

会場:たんぼの家アートセンター HANA(奈良市六条西3-25-4)
定員:各日100名 [申込先着順]
対象:障害のある人のアート活動に関心のある人
アートによるプログラム開発、仕事の開発、アートスペースづくりに関心のある人
参加費:両日参加 一般16,500円 学生(22歳以下)5,500円
(全て税込) 1日参加 一般8,800円 学生(22歳以下)3,300円
[情報保障あり。詳しくは中面をご覧ください。]

コロナ禍を経て、人やものが行き交う社会が戻ってきました。一方で、社会のなかで人それぞれが豊かな関係をつくるための視点や方法は依然として限られています。ケアとアートの現場におけるアクセシビリティ、コミュニケーション、テクノロジーの実践や実験は、先の見えない世界を生きる私たちと社会のあり方を考えるうえで大きなヒントになります。このセミナーでは、アートの人と人、人と社会をつなぐ橋としての役割にあらためて着目し、その可能性についてリアルタイムで学びます。
ひさしぶりの奈良での「アート化」セミナー、みなさまのご参加をお待ちしています!

主催:一般財団法人たんぼの家、社会福祉法人わたぼうしの会 協力:NPO法人エイブル・アート・ジャパン、NPO法人まる

26日
13:00-15:00

〔金曜日〕

エクスカージョン
Good Job!センター香芝ツアー
(要予約、定員20名/1,000円)
●JR香芝駅より徒歩5分
●近鉄下田駅より徒歩7分



アクセスは右記のURL、QRコードをご覧ください。(https://goodjobcenter.com/access/)

27日
13:30-20:00

〔土曜日〕

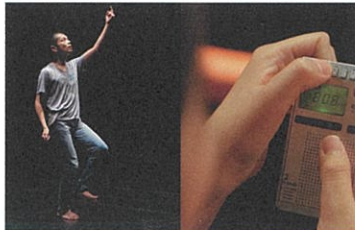
プログラム

12:30-13:30 受付

13:30-13:45[15分] あいさつ オリエンテーション

13:45-15:05 「アートとアクセシビリティ」

アートをつくる、みる、つたえる、さまざまな場面でアクセシビリティについて考える機会が増えています。人それぞれが違う存在として関わりあう社会において、アートへの関わり方もまた多様です。「障害は世界を捉えなおす視点」と考え、福祉の現場に積極的に関わりながらアートプロジェクトやリサーチを展開する田中みゆきさん、ろう者劇団と学生との連携から見えてくる、表現とアクセシビリティについての課題に取り組んだ長津結一郎さんと鈴木玲雄さん、そして美術館を社会にひらく活動を実践してきた稲庭彩和子さんと、アートとアクセシビリティの現在を学びます。



「音で観るダンスのワークインプロセス」
主催：神奈川芸術劇場 撮影：西野正将

13:45-14:35[50分] キーノート

田中みゆき (キュレーター・プロデューサー)

14:35-15:15[40分] 事例報告

長津結一郎 (九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)
鈴木玲雄 (手話劇団「福岡ろう劇団博多」代表) ※映像による出演



「Social Story」おもに発達障害のある人とその家族に向けた美術館案内の冊子

15:15-15:25[10分] 休憩

15:25-16:05[40分] ディスカッション

稲庭彩和子 (独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 主任研究員)、田中みゆき、長津結一郎

16:05-16:10[5分] 転換

16:10-16:40[30分] 事例報告「アートとデジタルの力で、社会に新しい仕事・文化をつくる! Good Job! Digital Factoryの挑戦」

高瀬俊明 (株式会社TART 代表取締役)
小林大祐 (Good Job!センター香芝センター スタッフ)

デザイナー、アーティスト、クリエイター、エンジニア、企業などさまざまな人たちと協働し、立ち上げたGood Job! Digital Factory。デジタル上で一人ひとりの個性やできることを活かした仕事をつくり、デジタルとリアルのあいだを行き来するコミュニティをつくることをめざし、現在進行中の挑戦を紹介します。



16:40-18:00[80分] 休憩 *オプション:アートセンター HANA見学ツアー(要予約)

18:00-20:00[120分] 交流会(要予約/4,000円)

28日
10:00-16:00

〔日曜日〕

選択プログラム



9:30-10:00 受付

10:00-12:00 選択プログラム

*選択プログラム1-A・B・C、2-A・B・Cは並行して行いません。午前・午後に1つずつプログラムを選択してください。

選択プログラム

1-A

コミュニティケアと福祉施設
—多様な人の居場所となる福祉施設の役割

武捨和貴 (NPO法人リベルテ 代表理事)
森口 誠 (NPO法人暮らしランプ 代表理事)

いま地域がさまざまな課題をかかえるなか、子どもや高齢者など、多様な人の居場所としての取り組みも生まれています。障害のある人とともに、福祉のイメージや価値観を変え、地域に施設をひらく事例から、これからのコミュニティと福祉施設の関係を考えてみます。

選択プログラム

1-B

アーティストトーク—創作と継続

ウルシマトモコ (アーティスト)
中塚翔子 (エイブルアート・カンパニー スタッフ)
前田考美 (アートセンター HANA アーティスト)
吉永朋希 (アートセンター HANA アートディレクター)

アーティストにとって、アートとの向き合い方はその時々に応じて少しずつ変わっていくものかもしれません。それに伴って、表現の形態や必要とするサポートも変化していきます。この会では活動をつづけてきた2名の作家と、自分にとって表現することの意味や、創作への取り組み方、支援する側のサポートの方法など、幅広く話を聞きます。

選択プログラム

1-C

オープンアトリエの可能性

岡崎 潤 (デザイナー、アービカル☆ ディレクター)
二村元子 (岐阜県障がい芸術文化支援センター「TASCぎふ」)

「オープンアトリエ」は、誰もが気軽に参加できるアートスペースのこと。身近にアートの創作に触れられる機会があることは、障害のあるなしに関わらず誰にとっても大切なことです。この会では障害のある人の絵画教室・アービカル☆と、岐阜県の事業として継続的に創作の場を開いてきたTASCぎふの実践からひらかれた表現の場づくりについて考えます。

12:00-13:00[60分] 昼食 HANAランチをご利用いただけます。[要予約/800円]

アフタヌーンサロン * 休憩時間中の、自由参加プログラムです。ご関心のあるものにご参加ください。

① Ciao! ヴェネツィアビエンナーレ国際建築展への参加とイタリアの文化を学ぶフィールドリサーチ報告

② 困ったらみんなで相談や! 障害とアートのなんでも相談室・関西風

本プログラムは、令和5年度障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省)の一環として行います。

14:00-16:00 選択プログラム

*選択プログラム1-A・B・C、2-A・B・Cは並行して行いません。午前・午後に1つずつプログラムを選択してください。

選択プログラム

2-A

障害のある人とつくる
パフォーマンスアーツの広がり

山口 光 (認定NPO法人ボイパ事務局 パフォーマンスアーツ担当)
佐藤拓道 (アートセンター HANA 副施設長)

福祉の現場で、ダンスや演劇などのパフォーマンスアーツへの取り組みに注目が集まっています。オンラインでもオフラインでも、自由な表現の発信をつづけてきた山口さん、重度の障害のある人たちの人生から物語をつむぐ演劇プロジェクト「HANA PLAY」を運営する佐藤さんと、パフォーマンスアーツの意味あいを考えます。

選択プログラム

2-B

ブロックチェーンとアートの可能性

高瀬俊明 (株式会社TART 代表取締役)
水嶋輝元 (株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門マネジャー、Good Job! Digital Factory Co-founder)
安部 剛 (Good Job!センター香芝 スタッフ)

福祉の現場でもメタバース(仮想空間)での交流やNFTを使った仕事づくりの可能性が見えてきました。今回、ジェネラティブアートで話題となった「Generativemasks」や地方創生×NFTで知られる「山古志DAO」などを技術面からも支える高瀬さん、Good Job! Digital Factoryの水嶋さんとともに、ブロックチェーンとアートの可能性を学びます。

選択プログラム

2-C

つながり、ひろがる

山崎慎也 (つむぐ学舎株式会社こづかやまlaboratory 代表兼施設管理者)
大平 暁 (NPO法人studioFLAT 理事長)

近年、人や組織のつながりの大切さがあらためて注目されるようになってきました。福祉の分野においても、これからは施設や団体の枠を乗り越え、多様な人たちとつながりながら活動していくことが求められるのではないのでしょうか。この会では、アートやデザインを切り口に、企業や地域の産業との連携を生み出そうとしている2施設の取り組みから、ひらかれた施設のあり方を考えます。

※やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。

その他のプログラム

たんぼぼの家50周年を記念した展示や、現在取り組んでいるプロジェクトの紹介展示のほか、グッズや書籍などの販売を行いません。あわせてお楽しみください。

情報保障について

●1日目のプログラムは手話通訳、および字幕(UDトーク)による情報保障を予定しています。
●2日目の分科会については、字幕(UDトーク)のみの情報保障となります。